

砺波総合病院糖尿病 地域連携パスの現状

糖尿病・内分泌内科
部長 早川 哲雄

Hayakawa Tetsuo

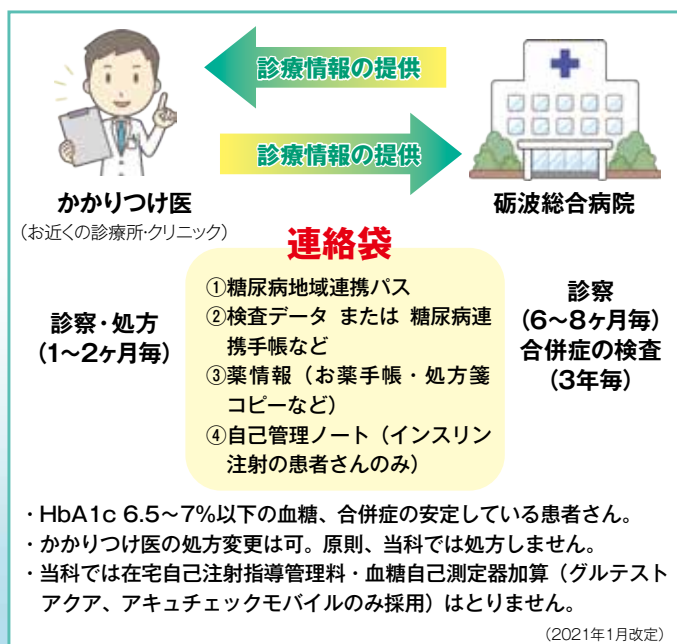


先生方にご協力いただいております糖尿病地域連携パスが糖尿病学会誌に掲載されますのでその内容についてご報告いたします。

糖尿病地域連携パスは糖尿病専門医とかかりつけ医が循環型の病診連携を行うシステムで、増加する糖尿病患者に対する糖尿病専門スタッフの不足を補うシステムとして有用性が報告されており、当院でも2014年から開始しました（図）。年間70～100人が登録され2020年3月までに592人が登録されています。本パスではHbA1c 7.5～8%以上に血糖が悪化した場合や合併症の増悪などを認めた場合は中断しています。

今回2014年から2016年に登録された2型糖尿病患者348例（年齢64.5±11.5歳、罹病期間8.3±9.2年、観察期間3.7±0.4年）について、年齢別に65歳未満149例、65～74歳123例、75歳以上76例に分けて検討しました。全例のHbA1cは開始前6.3±0.4%が1年後6.6±0.7%、2年後6.7±0.7%、3年後6.6±0.6%、4年後6.6±0.5%と悪化し、年齢別に検討しても同様でした。

図）砺波総合病院糖尿病地域連携パス



連携パス継続率は全例で1年後70.7%、2年後54.3%、3年後44.8%、4年後36.7%と低下し年齢間でほぼ差がありませんでした。

しかし、連携パス中断理由は年齢により異なっていました。65歳未満では血糖悪化、当科受診中断が主な理由でした。65～74歳でも血糖悪化が多く、65歳未満と比べると当科受診中断が少なく、癌の発生を多く認めました。75歳以上は、65歳未満、65～74歳と比べ血糖悪化が少なく、パス希望なしが多く、また65歳未満と比べると当科受診中断が少なく、癌の発生や骨折を多く認めました（表）。

65歳未満、65～74歳では血糖を悪化させないため、血糖がやや悪化した場合は診療間隔を短くするなど、きめ細かな対応をする必要がありました。65歳未満では受診中断しないため継続診療や連携パス必要性の説明や電話連絡など受診勧奨が必要でした。65歳以上では癌の発生にも注意する必要がありました。

連携パスは先生方のご協力がなければ円滑に行えませんので、特に処方変更した時はお知らせいただきますようご協力をお願いいたします。

表）砺波総合病院糖尿病地域連携パス中断理由（例）

年齢	65歳未満	65～74歳	75歳以上	全例
血糖悪化	35	40	12*#	87
当科受診中断	23	8*	3*	34
パス希望なし	7	4	14*#	25
癌	1	6*	7*	14
かかりつけ医受診中断	6	2	2	10
心疾患	1	3	3	7
他科入院	4	1	1	6
低血糖	0	3	1	4
骨折	0	1	3*	4
ステロイド投与	1	2	0	3
腎機能悪化	1	1	0	2
当科通院希望	1	0	1	2
その他	5	5	7	17
合 計	85	76	54	215

* P<0.05 vs 65歳未満, # P<0.05 vs 65～74歳

専門的な資格や技術をもった看護師が「病気とともに自分らしく生きる」みなさまを支援します。

＊外来受診されている方が対象となります。

事前予約制ですので、ご利用を希望される場合は受診科の医師・看護師へご相談ください。



今回は、全9外来のうち
次の3つをご紹介します

フットケア看護外来

糖尿病看護外来

手術サポート外来

栄養・嚥下ケア外来

リウマチケア外来

リンパ浮腫外来

認知症看護外来

ストーマ・スキンケア外来

呼吸器看護外来

フットケア看護外来

看護師
梁瀬 美紀

Yanase Miki



当院のフットケア看護外来は2019年9月に開設し、2年目を迎えることができました。

糖尿病・内分泌内科の早川哲雄医師、加藤健一郎医師の外来患者さんを中心に、フットケア研修を修了した看護師5名がフットケア看護外来を実施しています。

糖尿病患者さんの増加に伴い、神経障害、網膜症、腎症、大血管障害に加えて、足病変が増加し、これらの合併症を予防することが重大な課題となっています。なかでも『糖尿病足病変』につ

いては、看護師の重点的な指導により、合併症防止効果が認められます。

糖尿病足病変の発症および進行、足病変による患者さんのQOLの低下を防ぐことを目的として、医師の指示のもとフットケアを実施しています。対象となるのは、糖尿病の患者さんで、足の潰瘍治療歴のある方、下肢や足趾を切断したことのある方、閉塞性動脈硬化症のある方、神経障害のある方、足や爪のことでお困りの方です。

具体的には、足の観察方法や日常生活での注意点、足のお手入れなどのサポートや、ご自身の爪切りが困難な方や、たこ等でお困りの方のケアを行っています。

患者さん自身が生活を調整し、糖尿病と上手く付き合えるように継続的に関わっていきたくと考えていますので、今後も糖尿病・内分泌内科、フットケア看護外来をよろしく願いいたします。



加藤医師



山本看護師



宮林看護師



濱田看護師



市山主任



イメージ写真です
実際は手袋をしています

担当看護師	山本養子 宮林桂子 濱田亜衣子 市山加奈恵 梁瀬美紀
看護外来日	月曜日 9:00～12:00 13:00～16:00 完全予約制
場 所	1階 内科外来 南棟2階 看護外来室
費 用	糖尿病合併症管理料170点 保険診療で1回510円（3割負担の場合）
対 象	糖尿病足病変ハイリスク要因を有する患者さん ①足潰瘍、足趾・下肢切断既往 ②閉塞性動脈硬化症 ③糖尿病神経障害
内 容	足の状態の観察、問診、足浴、爪のケア、爪切り、足の角質の除去、たこ削り、指導（日常生活、自宅での足のお手入れ、正しい靴や靴下の選び方など）、必要に応じて皮膚科医師への紹介



栄養・嚥下ケア外来

摂食嚥下障害看護認定看護師
主任 谷口 めぐみ

Taniguchi Megumi



今年度より「栄養・嚥下ケア外来」を担当させていただきます。この紙面にて看護外来についてご紹介をさせていただきます。

栄養・嚥下ケア外来は、口から食べること・飲み込むことが難しくなってきた、むせるようになったなど不安や問題を抱えておられる方に栄養評価や嚥下評価を行っています。また、口腔ケアや嚥下リハビリテーション方法をお伝えし、誤嚥性肺炎予防を行いながらご自宅で生活できるようご家族を含め支援いたします。「食べたい」という気持ちに寄り添い相談に対応します。毎週火曜日午後、予約制で行っていますので、お気軽にお問い合わせください。今後ともよろしく願いいたします。

担当看護師	谷口めぐみ
看護外来日	火曜日 14:00~16:00 完全予約制
場 所	南棟2階 看護外来室
費 用	なし
対 象	栄養状態の変化や食べること・飲み込むことに問題や不安を抱えている患者さんやご家族
内 容	・栄養状態の相談 ・飲み込み時にむせる、飲み込みにくいなどの相談 ・とろみ剤の使用法の指導 ・栄養補助食品や嚥下調整食の相談 ・口腔ケア方法指導 ・経腸栄養（胃ろう）の相談

認知症看護外来

認知症看護認定看護師
主任 畑 真夕美

Hata Mayumi



関係各位の皆様いつもお世話になっております。私は、認知症看護認定看護師の畑真夕美です。この度は看護外来のなかの認知症看護外来のご紹介をさせていただきます。

認知症看護外来は、認知症者が地域で長く生活できることを目指しています。認知症の発症から終末期まで、認知症者の状態像を統合的にアセスメントし、各期に応じたケアやケア体制づくり、ご家族のサポートを行っています。また、認知症の行動心理症状（BPSD）を予防・緩和できるようにケアと一緒に考えていきます。今後とも、看護外来・認知症看護外来をよろしく願いいたします。

担当看護師	畑真夕美
看護外来日	火曜日 8:30~16:00 完全予約制
場 所	南棟2階 看護外来室
費 用	なし
対 象	当院に通院されている方 または受診歴のある方で 認知機能が低下している患者さんとそのご家族 (診療科は問いません)
内 容	・認知症の行動心理症状を悪化させる要因・誘因に働きかけ、行動心理症状を予防、緩和させる。 ・認知症の発症から終末期まで、各期に応じたケアの実践、ケア体制づくり、介護家族のサポートを行う。 ・認知症者が安全で安心できる生活・療養環境を得るためのケアと一緒に考える。



新

採

紹

介

(R2.10.1異動)

Q1 医師経験年数を教えてください
(R2.10.1現在)

Q2 趣味・特技・マイブームは何ですか？

Q3 抱負など何でもどうぞ

小児科 医師
ふくだ しんぺい
福田 晋平

Q1 A 5年目

Q2 A 子育て(勤務初日に当院で
生まれました)Q3 A 小児外来・病棟・救急から
砺波医療圏の下支えがで
ければと思います。3月までの
短い間ですが、よろしくお
願います。形成外科 医師
いし い はな
石井 華

Q1 A 4年目

Q2 A YouTube、DVD鑑賞など

Q3 A 砺波は症例が豊富と聞い
ています。外傷症例を含
め多くの事をここで経験
したいと思います。よろ
しくお願いいたします。

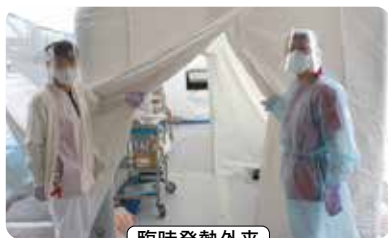
発熱外来について

発熱・呼吸器症状や県外移動歴等のある患者さんには、他の患者さんとは別の場所
で問診し状態に応じて新型コロナウイルス
検査等を行っています。

*健康調査票の様式、Q&Aは当院HPよりダウンロードできます。

市立砺波総合病院 健康調査票

検索



臨時発熱外来



正面玄関 風除室

受入れ
場所

平日 8:30~11:00 → 正面玄関 風除室

平日 上記時間外 及び土日祝日 → 救急外来(西側入口)
(駐車場内から、救急看護師へ電話連絡をお願いする場合があります)

ただし、紹介状や健康調査票から受入れ場所を変更する場合があります。

お手数をおかけしますが、今後ともご理解
ご協力いただきますようお願いします。

ちゅーりっぷサロン ZOOM開催のお知らせ

このサロンは、がん患者さんやそのご家族が、
療養中の体験や思いなど語り合う交流の場です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年12月からパソコンや
スマートフォンのZOOMを利用して開催しています。

参加費
無料

毎月 第4水曜日 14:00から(30分程度)
当院に受診されていない方もご参加いただけます。

参加されるにはID・パスワードが必要です。
事前にごがん相談支援センターまでご連絡ください。

その他ご不明な点などあれば、お気軽にご相談ください。

月~金曜日 9時~16時 TEL0763-32-3320(代表)

がん相談支援センター 担当 ひら 平



がん相談支援センター

(南棟2階化学療法室前)



編集後記

年が明けて、あっという間に2月になりました。2月3日は立春、暦の上では春がやってきます。
今冬は積雪量も多く、まだまだ寒い日が続いていますが、あたたかい春が来ることが待ち
遠いですね。季節は変わってもコロナ感染のおさまりはまだのようです。手洗い、
うがいをしっかりと、お体に十分お気をつけください。



連絡先

地域医療連携室

TEL 0763-32-8361 FAX 0763-33-1591